



発行所 秋田魁新報社
秋田市山王臨海町1番1号
〒010-8601
©秋田魁新報社 2016年

号外

購読申し込み
0120-13-1231
ホームページ
www.sakigake.jp
携帯サイト
m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」朝刊、当社ホームページをご覧ください。

東京 金融市場 京 国債で損失、異常事態

長期金利初のマイナス

東京金融市場で9日、住宅ローンや企業向け融資の目安で長期金利の代表的な指標である10年国債の利回りが初めてマイナスとなった。日銀が追加金融緩和策としてマイナス金利の導入を決めたことを受けて、投資家が少しでも高い利回りの国債購入を加速させたため価格が上昇し、利回りが急低下した。最も安全な運用資産とされてきた国債だが、マイナスの利回りで購入して満期まで保有すれば損失が出る異常事態となった。

原油安をきっかけに米
国経済が悪化するとの懸念が強まり、この日の東
京市場で円相場が一時1
ドル114円台まで円高
ドル安が急激に進行。株
式市場でも日経平均株価
(225種)が一時、9
00円を超す下げになっ
た。投資家がリスク回避
姿勢を強め、株を売って



初めてマイナスとなった10年国債の利回りを示すボード=9日午後0時36分、東京都中央区

日本国債を買う動きが広がった。
日銀がマイナス0・1%の金利導入を決めたため、市場で取引される国債の利回りが低下。満期までの残存期間が9年以下の国債は利回りがすでにマイナスになっていた。長期金利のマイナスはスイスで前例がある。
この日は、取引量が最も多い新発10年債(341回債、表面利率0・3%)は利回りが一時0%をつけた後、前日終値より0・030%低い0・005%で午前の取引を終了。その後、一時マイナス0・005%をつけた。大阪取引所10年国債

先物の中心限月である3月よりは54銭高の151円85銭だった。
10年国債の利回りがマイナスになったことで、安定的な資産運用はますます難しくなった。一方で住宅ローンや企業向け融資の金利は一層の低下が見込まれ、設備投資や個人消費を活性化させる効果が期待できる。
日銀が金融緩和策の一環として国債を大量に買い続けており、市場では「国債を購入しても、日銀がさらに高値で買ってくれるという安心感があり、価格が上昇している」(大手証券)との見方が出ている。